



いわたさん 通信 2023.9月

発行者 いわた洋介後援会

このままで、
あなたは村の将来に希望を持てますか？
あなたはいまの村行政を信頼できますか？
皆さんの気持ち次第で、現状は変えられます！
一緒に、新しい風を吹かせましょう。

信頼と
自立の村へ

いまの
村行政に
言いたいこと
いわた洋介が
言うすけ

村長！
この結果を
どう受け止めて
いますか？

村長！
私たちの
心配の声を
届けて
いますか？

令和5年度 佐那河内小学校 新入生5人

おとなりの神山町の保育所ではいまや待機児童がでるほど子供が増えています。上勝町もここ数年の子育て支援や移住促進の効果がはじめ、子供の数も増加の兆しが見え始めています。佐那河内村が人口減少や少子高齢化の問題を最優先に考えてこなかった結果が、今年の新入生の数に表れています。そこに追い打ちをかけるように保育所の不適切保育報道で、子育てに関する村のイメージダウンは計り知れません。

救急搬送に関する心配の声

ドクターヘリの役場新庁舎ヘリポート不着陸事件に加え、村民から救急搬送に関する不安の声が寄せられています。搬送隊員の大半が村外在住者のため地理や道路事情に不案内で現場にたどりつくのに時間がかかる、中山間地域に求められる搬送技術や体制が不十分（田んぼや畑や山の中で倒れた場合の対処方法）など、高齢者が多い村だからこそ、最優先に改善しなければならないのではないですか？

いわた洋介 って何者



佐那河内村に
移住し8年目

佐那河内村がこれからも
続いていてもらいたい
と心から願う移住者です！

1960年3月生まれ。兵庫県出身。関西学院大学 法学部法律学科 卒業。既婚。妻は金融関係勤務。日産自動車に入社。商品企画部門の責任者として世界中のマーケット向けのプロジェクトを担当。2013年、日産自動車を早期退職。トレーラーで日本一周の旅をした後、岩手県釜石市で1年間の震災復興支援の手伝い。2015年9月、佐那河内村に移住。村では一次産業のお手伝いをしています。

ホームページ [いわた洋介](https://iwasayosuke.com/)
<https://iwasayosuke.com/>
Instagram @yosukeiwasa2023
LINE いわた洋介後援会

村長！
この問題、
どう考えて
いるんですか？

あれだけ肝入りでつくった ヘリポートを 移設するんですか？

今年6月の議会の一般質問で、村は移設のための用地を探していると回答していたと思いますが、やっぱり使えないのですか？ 使えないヘリポートをつくった責任は明確になっていますか？ 新たなヘリポートも税金でつくるのですか？ 使えないものを作った人に責任をもって払ってもらってください。自分のお金で家を建てて、後で不具合がでたら建てた人に不具合を治してもらおう権利は保証されていますよね。

役場の人事は健全ですか？

今年4月から社会福祉協議会に課長待遇が1名増員されました。社会福祉協議会の仕事の内容は昨年と変わらないにも関わらず1名の増員。しかも配属された人の専門性をまったく考慮しない職場への配属。限られた人材有効に活用していますか？ まさか好き嫌いで人事異動してませんか？ さらに、保育所の不適切保育に関する懲戒処分のやり直し。一度決めた懲戒処分が条例で定められた手続きを行っていないという指摘をうけ再度懲戒処分のやり直しを行うという不手際。順法意識や公正さを保つことが公職に就く人間の最も基本的な資格要件です。公正で健全性が保証された人事施策があつてこそ、職員の皆さんが能力を最大限に発揮できるのではないのでしょうか？

新スマート物流（ドローン活用）は

村の課題解決に
本当にベストな方法ですか？
共同配送、買い物代行サービス、農作物の出荷代行、防災および発災時の物資輸送など、村の課題を解決するためにドローンがベストの解決方法ですか？ 1回に5kgしか運べない。風雨が強いと飛べない。操縦する人も必要。なのに1台の値段は国産高級車並み。他の方法と比べてみましたか？ 将来の需要予測も含め、他の課題解決方法と比較検討せずに事業化を急ぐことは、村民の利益に反することになりませんか？

ジビエ処理加工施設は

村がやるべきことですか？
この処理加工施設をつくっても獣害は減りません。獲れた肉の利活用が目的ですので、民間の事業者が行うべき事業です。それに施設は、県内はもちろん近畿圏全体ですでに725箇所もあり、経常赤字のため年間の平均稼働日数は137日という調査結果*関西広域連合 調査報告書が出ています。四国で初めて施設を作った那賀町では、開業ははじめから赤字が続き、町の税金で10年間補填をしていましたが、町議会でこれ以上の補填が認められず倒産しました。国の補助で建てたら、途中でやめられません。赤字にならない対策は考えられているのでしょうか？ 赤字がでたら那賀町のように税金で補填するつもりでしょうか？ 将来に負の遺産を背負わせるつもりですか？ いま最優先で取り組まなければならないのは、村の農業を持続させるためになんとしても獣害を減らす。そのための対策に資源を集中することです。

村に新しい風

いわた洋介 後援会事務所 <https://iwasayosuke.com/>

〒771-4102 徳島県名東郡佐那河内村上字平間 37 番地 TEL 090-6950-3454 E-MAIL biziwasanagochi@gmail.com



信頼と自立の村へ

公約1

村民から信頼される村行政を実現します！



7つの約束

1 村民の生命と安全を最優先します

ヘリポート移設問題について、ヘリポート設計施工責任者及びヘリの操縦士への聞き取り調査を行い、責任所在を明確にして移設の判断を早急に行います。

救急搬送時間の短縮、中山間地ならではの搬送体制の確立、消防団員の慢性的な不足など、現状の消防・救急体制の課題を洗い出して継続的な改善に取り組みます。

2 安心して子育てできる環境をつくりま

不適切保育の根本原因を把握して再発防止策と情報公開を行い、早期に保育所の信頼回復に努めます。

校則など教育に関わるルールや慣習を子供中心に見直します。

3 人に優しい行政サービスを提供します

免許返上後の交通手段の確保（買い物バスなど）を継続して検討します。

急速に進むデジタル化に対する村民へのサポートを充実させます。

4 無駄遣いを無くします

目的や目標値が不明確な既存事業の棚卸をして各事業の期待効用が一目でわかるように数値目標におきかえます。その上で優先順位付けを行い資源配分の見直しをします。

5 公正な人事で健全な役場組織にします

納得性が得られる賞罰含む人事評価制度、適材適所の人材配置で、職員が安心して働ける環境をつくりま

6 次世代を担う人財を育成します

個々人の適性や意欲を反映した個別キャリア開発計画を作成します。

村外出身者が多い若手職員に村を知ってもらうため、担当常会制の導入を検討します。

7 皆さんの声を傾聴し改善努力を続けます

いつでも皆さんの声が聞けるように村長への意見箱を設置します。

成功している他の自治体などを学びの対象として現状に満足することなく日々改善努力をします。

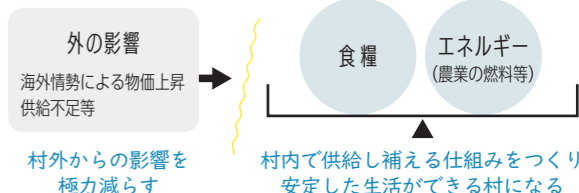
公約2

自立できる村にします！



農業が主体の小さな村だからこそできる！「自立できる村」とは…

自立できる村とは、外への依存をできるだけ減らし、自分たちでできることを増やしていくことで、将来に亘って持続可能な生活を目指す村のことです。自然が残り農業が主体の佐那河内村にはその可能性があります。



総合計画

自立できる村への総合計画のポイント

農業の持続化

村の農業を持続させるための仕組みづくりを行います。

① 農業事業者の所得改善

農業関連コスト（燃料、肥料、農薬等）削減と環境負荷軽減の仕組みづくりを支援し所得を向上させます。

一時しのぎの現金支給ではなく、継続的に支出を減らす仕組みづくり（新技術の導入など）を農家さんと一緒に考えていきます。

② 農業事業者の負担軽減

獣害対策
国・県などの支援を最大限に活用し、効果が出るまで対策を継続します。

新規就農者支援
農地の貸借や、農機具の共用の仕組みづくりを行います。

③ 農業事業継続者の発掘支援

農業への関わり方の間口（定住→通勤、専業→兼業 半農半X）を広げて考え、農業関係人口を発掘する取り組みを行います。

自立できる村への総合計画のポイント

エネルギー対策

エネルギー自給率を向上し、消費量を削減します。

再生可能エネルギーの自家使用を推進

大災害が起こると電気の復旧に1か月以上かかることを想定し、緊急時の給電・蓄電の仕組みをつくりま

エネルギー消費削減のための断熱機密改修支援

役場庁舎や小中学校などの公共施設をはじめ、個人宅の断熱改修などへの支援。

海外に100%依存しているエネルギーは価格変動等が生じると生活へ影響を及ぼします。その影響を減少させるための仕組みをつくりま

自立できる村への総合計画のポイント

人口減少・少子化対策

移住やUターンで定住人口を増やし、新事業で来村者を増やします。

① 「食」で子育て支援

村で子育てして良かったと思ってもらえる子育て支援を行います。

子育て世帯へ主食類の現物支給

村内産のお米を村が買い上げ、お金を還流させます。

給食費の無償化

② 移住者へ住宅供給

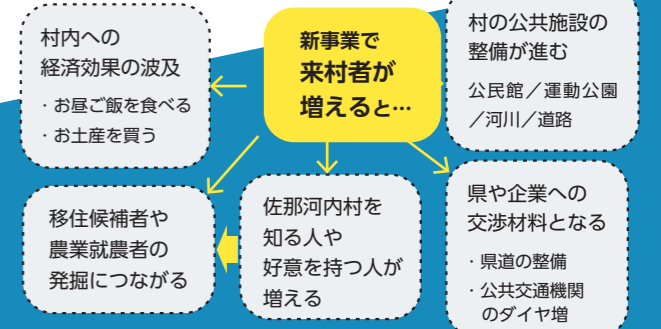
様々な居住スタイルに応じた住宅を準備することで移住しやすい環境を整えます。

上勝町は人口1500人に対し町営住宅130世帯分用意しており佐那河内村営住宅の10倍に及びます。そこで、4年間で40軒の住宅を提供するよう計画します。

③ 来村者を増やすための事業の起業と誘致の支援

人の流れをつくり、村の経済を活性化させます。

<事業例>ユニバーサル体験学習



ようすけ

いwasaya 洋介

住んで良かったと思える佐那河内村にしたい！

<https://iwasayosuke.com/>

〒771-4102 徳島県名東郡佐那河内村上字平間 37 番地

TEL 090-6950-3454 E-MAIL biziwasanagochi@gmail.com

